

最終回! 続きは書籍で!!

楽聖四コマ劇場

運命

呼ばないで

Op.2-7



© NAXOS JAPAN/IKK

NAXOS JAPAN

WEBにて

大好評連載!!

http://naxos.jp/special/no_unmei

「なんと!!」

「運命と呼ばないで」

書籍化決定!!

4月22日

発売予定

「勇気づけのピアノレッスン」

はじめまして。湘南で小さな音楽教室を開いている松井美香と申します。

この度、「勇気づけのピアノレッスン」のコーナーを担当させていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

音大を卒業して10年間、公立中学校の教員をしていました。その後退職し、三人の男子を育てながら、ピアノ（と歌）を自宅で教えています。教員時代からずっと学んできた「アドラー心理学」をベースに、子どもたちに「勇気づけ」の指導法を取り入れてきました。

私はピアノを習うことで「人生に大切な多くのことを学べる」と思っています。ピアノが上達するという目的よりも更にレベルアップした素晴らしい学びが得られることに、確信を持っています。ここでは、具体的に生徒とどんなコミュニケーションをとればよいか、どうしたら生徒が音楽を継続して学んでくれるか、などをお伝えしていこうと思っています。

「アドラー心理学」は実践的な心理学です。みなさんの日々のご指導や子育ての参考にさせていただけたら幸いです。

アドラー心理学 フロイトやユングと並び心理学者の3大巨頭と称されるユダヤ系オーストリア人の心理学者アルフレッド・アドラー（1870-1937）が創始した心理学の体系。正式には「個人心理学（Individual Psychology）」と呼ばれ、自己啓発やコーチングの源流とも言われる。

「自ら目標をもってピアノを弾く子に」

さて、アドラー心理学では「子どもというものは、生まれた瞬間からおとなと対等の存在である」としています。そして私はその考え方にとても共感しています。実際、私の教室では、このアドラーの理念に基づいた指導をしているのですが、例えば、生徒と共に教本を選び、生徒と共に練習方法を考え、時に、練習した曲が合格であるかどうかまで生徒自身が判断するというようなこともしています。私は「子どもと共に考える」という指導をすることによって、子ども自身が自らの目標を見出し、その目標に向かって努力するという姿を数多く見てきました。子どもたちは無限の可能性を持っています。少し変わったやり方と感じられるかもしれませんが、生徒の可能性を伸ばす手段のひとつとして、このような方法をとることはとても有効と感じています。「勇気づけ」についての詳しい内容は、また次回お伝えしていこうと思います。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<ブログタイトル>

～子どもから学ぶ～

「イキイキワクワク親子コミュニケーション」

URL: <http://ameblo.jp/makeachangewithlove/>

2倍以上の充実感

春といえば、出会いと別れの季節。そんな春だからこそ、アンサンブルにチャレンジしてみませんか？大勢でなくても、そう、「連弾」なら二人だけでも素敵なアンサンブルに。二人なら、哀しみは半分、喜びは倍に。「連弾」で音楽を仕上げる喜びは倍

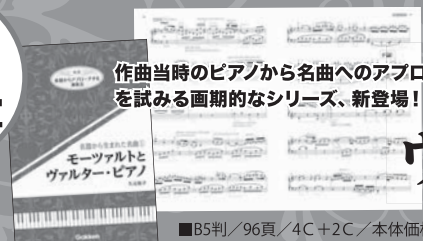
以上! “絆” もより深まります。レベルの差? そんなの気にしない! 「DUO」ならどんなレベルの二人組でも選曲が可能です。

最高の想い出づくりに、ぜひ。(か)

DUO～ピアノ/連弾名曲集①②～ 監修: 児玉幸子



続刊
3月中旬
発売予定



名器から生まれた名曲①

モーツァルトとヴァルター・ピアノ

久元 祐子

■B5判/96頁/4C+2C/本体価格1,400円(税別)

編集部がうぶやいたー!

もうすぐ桜の季節がやってきます。春の日差しに包まれて心も気持ちもふわふわ!

ちなみに目黒川の桜の木は約850本あるそうです。(や)

Tsubuyaitter.....

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよいしごとや最新情報を

Web版もあるよ! バックナンバーが閲覧できる! ウェブならではの情報が満載!

学研 おんがく通信

3月号

Gakken
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

2014年2月25日

毎日朝晩冷え込みますね。もうすぐ春なのに、まだまだ寒い日は続きそうです。女性に冷えは大敵。私は今年から湯たんぽを導入しました。それでも今朝はよほど寒かったのか...きっちり布団にくるまり、犬や猫が伏せをするように寝ていました(正座をし、お腹に湯たんぽを抱え込み、そのままうつ伏せ)。長時間その体勢だったようで、朝起きると、手も足もじーんとしびれていました。つらいです。(の)

ぴあのどリーむ情報



生きている「ピアノ・テキスト」 ～「ぴあのどリーむ」20周年のしめくくり～

「ぴあのどリーむ」シリーズの発刊20周年を記念して、この1年間、このコーナーでシリーズについて詳しくご紹介して参りました。いよいよ20周年も残りわずかとなり、3月15日に、シリーズは満21歳のお誕生日を迎えます。ここまで長く皆さまに愛され続け、使い続けていただけていること、本当に嬉しく感じているのですが、編者の田丸信明先生の楽譜には「ぴあのどリーむ」シリーズのほかにも、「おんがくドリル」シリーズや「ピアノの森」シリーズ...のように、人気の高いシリーズがたくさんあります。そこで今回、このコーナーの節目として、その秘訣を探ってみたいと思います!

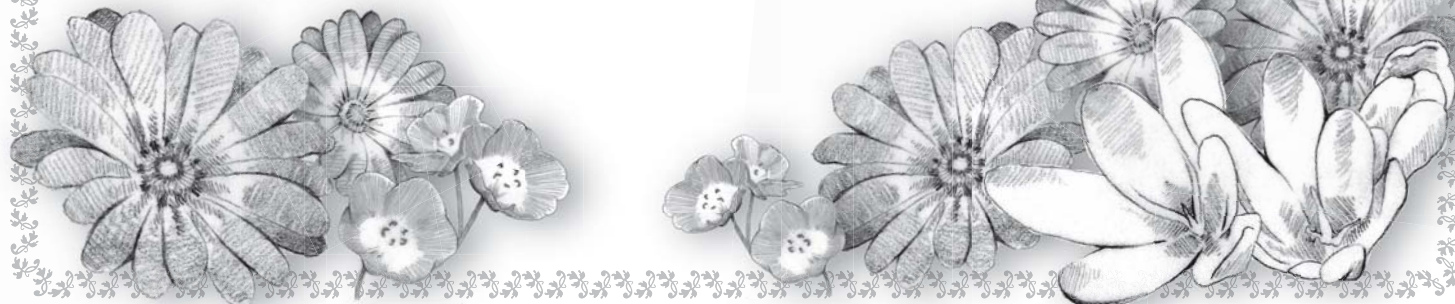
草花のように...

「ぴあのどリーむ」シリーズのみならず、田丸先生のテキストは、「より多くの子どもたちにピアノの楽しさや音楽のすばらしさを知ってもらえるように」、「少しでもたくさん子どもたちがピアノをながく続けてもらえるように」との願いをもって、工夫されているのが特長です。「使いやすさ」の原点はもちろんこの理念にあるのですが、そればかりではありません。田丸先生の楽譜は、常に進化し、成長を続けているのです! 田丸先生は、いろいろなことに造詣が深くていらっしゃるが、園芸もお好きで、草木を愛していらっしゃいます。そんな先生が、「お庭をごまめにお手入れする」ように、楽譜も、常に「新鮮」な=“その時代に合った”ものであるよう、細やかな配慮がなされています。

たとえば、目に見えてはつきりわかるころでは、新シリーズが加わる事。土に空気を入れ、新しい草花が加わるようなイメージです。これにより、シリーズ全体のカリキュラムがより細やかに、充実したものになり、全体が活性化されます。最近では「ぴあのどリーむ」シリーズに「中級導入シリーズ」が加わり、「ぴあのどリーむ」シリーズでより長く生徒さんの成長を見守る事ができるようになった...というようなことです。

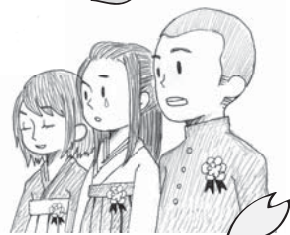
さらに! すでに発刊されている商品ももっと健やかに育つよう、とても細やかに目が配られています。日々変化するピアノ・レッスンの現場でなるべく使いやすいように...、という想いのもと、田丸先生の楽譜シリーズには、発刊後も実は少しずつ手が加えられているのです。もちろん、『植え替える』わけではありませんから、カリキュラムや理念、曲順といった『根幹』に手が加わることはありません。加えられることは、ほんとうに小さなことで、いま植わっている木や苗が、さらに美しく、もっと立派に育つようにごまめに目配りし、お手入れするのと同じように、すでに出版されている楽譜も大切に育てているのです。こういった細やかな心配りに商品が愛され続ける理由があるようにも思えます。

「ぴあのどリーむ」シリーズも21歳となりますが、まだまだ大切に育てられ、進化し続けることでしょ。これからもご期待ください!(か)



日本の心

♪ 仰げば尊し わが師の恩
 教への庭にも はやいくとせ



卒業の季節がやってきました。最近卒業式もすっかり様変わりして、この「仰げば尊し」を歌う学校は少なくなっているようですが、ある年代以上の方々にとっては、なつかしさや感傷的な気持ちでいっぱいになる1曲ではないでしょうか？平成19年（2007年）には日本の歌百選の1曲となっています。

「仰げば尊し」が発表されたのは明治17年（1884年）発行の『小学唱歌集（3）』でした。この当時の唱歌は合作によるものが多かったので、未だに作者が限定されない曲がたくさんあります。この曲もそんな1曲で、作者不詳として今日までできています。そうした中、この曲の原曲とみられる歌の楽譜がアメリカで発見されたというニュースが2011年1月24日に発表されました。ご覧になった方も多いいのではないのでしょうか？発見したのは一橋大学の名誉教授の桜井雅人さん。以下は新聞記事からの抜粋です。

<桜井さんによると、曲名は「SONG FOR THE CLOSE OF SCHOOL」。米国で1871年に出版された音楽教材に楽譜が載っていた。直訳すると「学校教育の終りのための歌」で、友人や教室との別れを歌った歌詞という。作詞はT.H.プロスナン、作曲はH.N.Dと記されていた。旋律もフェルマータの位置も「あおげば尊し」と全く同じという。桜井さんは約10年前から唱歌などの原曲を研究。何十曲もの旋律を頭に入れ、古い歌集や賛美歌などを調べていたところ、1月上旬に楽譜を見つけた。（2011年1月24日共同通信）>

原曲が判明したとはいえ、この曲がどのようにして日本に入ってきたのか、作詞・作曲者は誰なのか、日本語の歌詞は誰によるものなのか…、まだまだ分からないことがたくさんあります。桜井さんは、「日本にはたどれる資料がなく、今の米国でも知られていない歌。作詞・作曲者の実像など不明な点も多く、今後解明されればうれしい」と話しています。アメリカで生まれ、日本に伝わった「仰げば尊し」。このニュースはアメリカにも伝わり、あるハイスクールでは、故郷に帰ってきた「SONG FOR THE CLOSE OF SCHOOL」を再演したそうで、その映像は今でもYouTubeで観ることができます。歌詞が時代にそぐわず今は歌われる機会が少なくなったこの曲ですが、もう一度口ずさみながら、原曲がたどった旅に思いを馳せてみませんか。（く）

3月 Happy Birthday
生まれの音楽家
 ♪ ニコライ・リムスキー＝コルサコフ
 (ロシア／作曲家／1844.3.18)
 ♪ ヴィルヘルム・バックハウス
 (ドイツ／ピアニスト／1884.3.26)

WEBで詳しく紹介しています！

100年前に作られた曲をきいてみよう

今から100年前の1914年（大正3年）に書かれた作品をご紹介します！100年前、世界各国ではいったいだれが活躍していたのでしょうか？

- ドイツの作曲家
R. シュトラウス：歌劇「影の無い女」（1914-17）
- イタリアの作曲家
レスピーギ：劇的交響曲（1913-14）
- イギリスの作曲家
ホルスト：組曲「惑星」（1914-16）
- フランスの作曲家
ラヴェル：クーランの墓（1914-17）
ドビュッシー：沈黙の宮殿（1914）
フォーレ：歌曲集「閉ざされた庭」（1914）
サティ：スポーツと気晴らし（全21曲）（1914）
- ロシアの作曲家
プロコフィエフ：スキタイ組曲（「アラとロリー」）（1914）
- アメリカの作曲家
アイヴス：管弦楽曲「ニュー・イングランドの3つの場所」（1903-14）

1914年のできごと
 ● 第一次世界大戦勃発
 ● パナマ運河開通
 ● 夏目漱石『こころ』発表

NML (ナクソス・ミュージック・ライブラリー) できいてみましょう！
 → <http://ml.naxos.jp/>

**ブルクミュラー没後140年
 ～ブルクミュラーの交友関係～**

2014年2月13日、フリードリヒ・ヨハン・フランツ・ブルクミュラー（1806.12.4-1874.2.13）は、没後140年をむかえました。ブルクミュラーは、有名なピアノ曲集「25の練習曲」「18の練習曲」「12の練習曲」のほかに、400を超える作品を残しています。その多くはピアノの小品のようですが、実は生前、バレエ音楽の作曲家としても活躍をしていたそうです。（最大のヒット作はバレエ音楽「ラ・ペリ」だとか。）みなさん、ブルクミュラーがどんな人物だったか知っていますか？昨年発刊されました飯田有抄さん、前島美保さん共著の「ブルクミュラー25の不思議 なぜこんなにも愛されるのか」（音楽之友社刊）の中で詳しく語られていますので、ぜひ読んでみてください。ここでは、ブルクミュラーと親交のあった音楽家たちをご紹介します。

- 1826年にはじめての出版を果たします（ピアノ曲「ロンド Op.1」／ペータース社）。これは、ベートーヴェンの弟子フェルディナント・リース（1784-1838）の計らいだそうです。
 - 1834年パリに移住します。この頃パリはピアノ文化がとて盛ん。フレデリック・ショパン（1810-49）やフランツ・リスト（1811-86）が活躍していました。同業者として親密な関係（!?）だったのかもしれませんが。
 - この時代、親交のある人に曲を捧げる＝献呈が流行っていました。ブルクミュラーも多くの作品を献呈しているようです。**フランツ・リスト**に献呈：リストに捧ぐ幻想的な夢 Op.41
マリー・プレイエルに献呈：歌劇『プロエルメルのパルドン祭』、サロンのワルツ（ショパンは「ノクターン Op.9」を献呈。）
 そのほか、ジギスモント・タールベルク、ステファン・ヘラー、ユリウス・シュールホフにも捧げています。
 - ロシアの作曲家**リムスキー＝コルサコフ**（1844-1908）は、少年時代（1850年代）にはピアノ・レッスンで、ブルクミュラーのピアノ小品を与えられたと自伝で回想しているそうです。
- ほかにも、ブルクミュラーに影響を受けた音楽家がたくさんいるのかもしれませんがね。（の）

*参考図書「ブルクミュラー25の不思議 なぜこんなにも愛されるのか」
 飯田有抄・前島美保 著／音楽之友社刊

カール・フィリップ・エマヌエル・バッハは、今年2014年に生誕300年をむかえました。ピアノ学習者のみなさまにとっておなじみのエマヌエルの作品は、コンクールの課題曲などにもよく選ばれる《アンナ・マグダレーナの音楽帳》の中の〈マーチ 二長調 BWV Anh.122〉ではないでしょうか。

エマヌエルは、父 J.S. バッハ、母マリア・バルバラ（J.S. バッハの最初の妻）の第2子で、父と同じく作曲家です。活動した地域によって「ベルリンのバッハ」「ハンブルクのバッハ」と呼ばれています。バッハ家の子供たちの中でもっとも多くの作品を残し、生前のその実績は父 J.S. バッハを上回るほどで、エマヌエルが「大バッハ」と称賛されていました。音楽史上ではバロックと古典の二つの時代で活躍した音楽家として重要な存在です。

ベルリンでは、プロイセン皇太子であったフリードリヒ（後のフリードリヒ2世）の宮廷チェンバロ奏者として仕えました。フリードリヒの音楽趣味はたいへん保守的なもので、彼のフルート教師であるヨハン・ヨヒアム・クヴァンツ（1697-1773）が作曲した300のコンチェルトのみを、順繰りに演奏していたそうです。その趣味とは正反対に、エマヌエルは常に新たな可能性を追求し続けていました。ベルリン時代には『クラヴィア演奏の正しい技法についての試論』を出版し、チェンバロ奏者としての名声を確立します。エマヌエルのチェンバロの演奏については、フリードリヒも賞賛を惜しまなかったそうです。しかしフルート演奏を趣味としたフリードリヒの宮廷ではエマヌエルの作品はほとんど演奏されることはなく、フルート演奏の伴奏者として務めました。

やがて1767年、30年仕えたベルリン宮廷を離れ、ゲオルク・フィリップ・テレマン（1681-1767）が楽長をしていた楽団の後任と

生誕300年3月8日は
C.P.E.バッハ
 Carl Philipp Emanuel Bach (1714~1788)
の誕生日

して、ハンブルクのヨハネウム・ハントなど主要な5つの教会の音楽監督に就任します。ハンブルクでは、ライプツィヒ時代の父のように職務の一環として教会や街の様々な行事に音楽を提供し、さらに自ら定期的な公開演奏会を企画・開催したり、自身の作品の出版も行いました。

エマヌエルは、兄弟の誰よりも父親を尊敬し、バッハ家の音楽的・宗教的伝統への忠誠を自覚し続けていたようです。ちなみにエマヌエルの名付け親は、父の友人でもあったテレマンだそうです。エマヌエルの名前にある「フィリップ」は、テレマンの名前にちなんだものです。ベルリンを離れ（フリードリヒの趣味に嫌気がさしたという記録もあります）、ハンブルクへ移ったのも、テレマンへの恩に報いるためだったのかもしれませんが。（の）

●おすすめCDを1枚⇒
 C.P.E. バッハ フルード・ソナタ集 ～クヴァンツ・フルードによる～
 [浜松市楽器博物館/LMCD-1976]
 演奏：有田正弘（フルード）、有田千代子（チェンバロ）

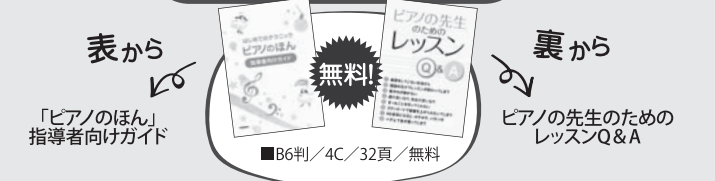
今月のあかね先生

『はじめてのテクニク ピアノのほん』第3巻が2月に発売になりました!! 3巻になると、音楽の幅がどんどん広がっていきます。この教材を制作する上でのこだわりは、第一に子どもにわかりやすい構成にすること、そして第二に、テクニクだけに偏らず、音楽性、感性も学べるようにすることでした。耳で音楽を感じることができるよう、あかね先生のカリキュラムに沿って、作曲家の轟千尋先生に音楽を手掛けていただいています。ぜひ、ご覧になってみてください。

また、この教材にご興味を持っていただいた先生方からの質問で多いのが「シリーズ修了後はどの教材に進めばいいのですか?」というもの。シリーズを通してバイエルなどの初級ピアノ

教材で習得する内容を盛り込んでいますので、ブルクミュラーなどの中級レベル曲集・教材に進んでいただけます。無料配布中の小冊子で全3巻のカリキュラムをご覧いただけますので、ぜひお持ち帰りください♪(いも)

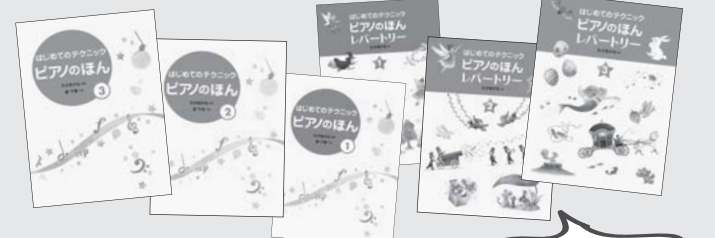
**★完結記念★特別小冊子!!
 全国の楽器店で無料配布中!!**



つむりの練習手帳

今度の発表会とコンクール、つむりは「どっちも出たくない」って嫌がってたけど、結局発表会はママが勝手に申し込んだじゃいました。さらに「コンクールにも出られるように」って、コンクールの曲を発表会で弾く事にしたんだけど、うまく弾けるときの差がはげすぎて、先生もママも悩んじゃってます。コンクールの申し込みのしめ切りまであと4日。どうするんだろう。（トホホお兄）

つむり現在の楽譜
 ☆こどものハノン④
 ☆こどものバッハ
 ☆こどものためのピアノ曲集「南の風」
 ☆新版こどものソナチネ①



【テキスト(全3巻)】
 ■各:菊倍判/4C/本体価格1,200円(税別)
 ■1巻 50頁/2巻 52頁/3巻 48頁 ※各巻指導者向けページ付き
 【レポート(全3巻)】
 ■各:菊倍判/40頁/4C/本体価格1,000円(税別)

はじめてのテクニク
ピアノのほんシリーズ
★発売中★

今月のセミナースケジュール
 3/7(金)[新潟県/長岡] 北越楽器 長岡本店
 『子どもが飽きないリズムのレッスン-導入編』

3/12(水)[大阪府/梅田] カワイ梅田
 『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』
 3/13(木)[広島県/広島] カワイミュージックショップ広島
 『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』

